

事例 15 思考展開シート

(1) 疾病や薬の副作用等の影響は考えられますか？

- ・ 80歳頃アルツハイマー型認知症の診断。
- ・ 入院中も他者に対して大声などの症状はあった。

【質問】

認知症の重症度や、進行の速度はどのようなものでしょうか？

【回答】

- ・ 日にちや曜日の感覚はない、数名の利用者の顔はわかる様子。
- ・ 日中と夜間の過ごし方は変わったことはない。身の回りのこともほぼ自立している。入浴を拒むこと、他者への批判以外は特に目立った行動はない。
- ・ 施設に入所してから、状態の変化、精神面の変化はみられない。

(2) 身体的痛み、便秘・不眠・空腹等による苦痛の影響は考えられますか？

- ・ なし

【質問】

心臓病の発症からの経過と現在の重症度を、Aさんはどのように自覚していますか？

【回答】

- ・ 本人は病気の意識はないと思われる。

【質問】

高血圧に伴ってのいらいら感の関連性はありませんか？

【回答】

- ・ 内服治療にて現在は高血圧も安定しており、関連はないと思われる。

(3) 悲しみ・怒り・寂しさ等の精神的苦痛、また本人の性格等の影響は考えられますか？

- ・ もともと性格が几帳面なため、他の方が間違った方法や自分が決めた場所に他人が座ることに対して怒るのではない。

【質問】

本人が怒っていることに対する職員の受け止め方はどのようなものですか？

【回答】

- ・ 本人が怒っていることに対して職員は、その原因を作った利用者の行動を止めさせようとしていることが多い。したがって職員は、本人に対して怒ってしまうことはしかたがないと思っている。

(4) 音・光・味・臭い・寒暖等感覚的な苦痛を与える刺激の影響は考えられますか？

- ・ なし

【質問】

本人が日中過ごす場所はどのような環境でしょうか？

【回答】

- ・ 本人がいる棟は、利用者のほとんどがホールにて過ごし、いつも周りに人がいる場所で過ごしている。日中は自室へ戻ることはない。
- ・ 常に決まった席に座っている。

本人の言葉や状態
ワークシート C- に書いた、本人の言葉や行動を書き出し、関連のありそうな情報を整理してみましょう。

- ・ 自分のルールに合わないと言口に出して他者を批判する。

(5) 家族・介護者など周囲からの過剰、あるいは少なすぎる関わりの影響は考えられますか？

- ・ 普段、本人から家族の話が聞かれることはない。

【質問】

本人が家族の話をお聞きしないのは何か理由がありますか？

【回答】

- ・ 特に家族との関係は悪くないし、たまに面会があるが表情がいいため、理由はわからない。
- ・ 家族の話だけでなく、あまり話さない方である。

(6) 障害程度・能力の発揮に対して、住まい・器具・物品等物的環境による影響は考えられますか？

- ・ なし

(7) 要望・障害程度・能力の発揮と、アクティビティー(活動)とのズレによる影響は考えられますか？

- ・ 本人自身は間違っていることは言っていないが、他者の行動について強く怒鳴ってしまう。
- ・ 身の回りのことは自立しているが、他者との交流をあまり好まない。

【質問】

おしぼりたたみなど、職員が依頼した事を本人はどのように受け止めているのでしょうか？
(活動に参加することをどのように意味づけていると想像しますか？)

【回答】

- ・ 頼まれるから行っていると思われる。作業場面に参加しているという感じではなく、目の前に仕事があるから行っている感じ。その中でも、馴染みの関係は少しずつできてきている様子。

(8) 生活歴・価値観等に基づいた暮らし方と、現状とのズレによる影響は考えられますか？

- ・ これまでいろいろな仕事や老人クラブなどで活動し、丁寧に行ってきたと思われるが、周りの利用者が決められたことを行わないと気になるのではない。
- ・ 他者に頼ることなく自分でいろいろと行って来た。

【質問】

仕事、孫の世話、夫の看病、老人クラブにおける本人の役割や、しなければならなかった義務について、わかることがあれば教えてください。

【回答】

- ・ 仕事で洋裁の会社に勤めたことは話す。